

かながわ東日本大震災 ボランティアステーション事業について

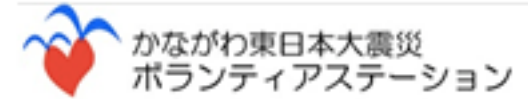
神奈川県

吉田 信雄

NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク

塩沢 祥子

かながわ東日本大震災 ボランティアステーション事業とは



2011年4月11日



神奈川県



神奈川県社会福祉協議会



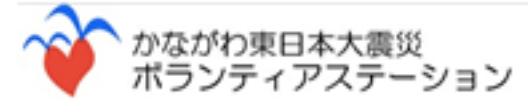
神奈川災害
ボランティアネットワーク
(KSVN)



かながわ金太郎ハウス

- 岩手県遠野市に、ボランティアのための宿泊拠点施設として、県が2011年7月24日に設置。

かながわ東日本大震災 ボランティアステーション事業の目的

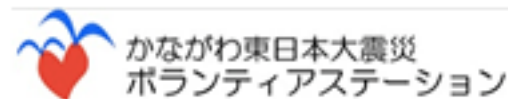


かながわ東日本大震災
ボランティアステーション事業

東日本大震災の被災地の
支援活動

東日本大震災の教訓、支援
活動の経験を通して、神奈
川の防災力強化につなげる

かながわ東日本大震災 ボランティアステーション事業の実績



岩手県ボランティアバス
運行実績
(H.23年度末まで)



102台

岩手県ボランティア従事者数
(H.23年度末まで)



6962人

宮城県ボランティアバス
運行実績
(H.23年度末まで)



121台

宮城県ボランティア従事者数
(H.23年度末まで)



4097人

計 11,059人 223台

岩手県での支援活動



思い出探し隊



カフェ隊



思い出仕分け



お祭りの手伝い



瓦礫作業



献本作業

宮城県での支援活動



気仙沼復興祭



漁業支援



女川復興祭



海岸清掃



側溝泥だし



仮設支援



農業支援

かながわ金太郎ハウスとは



●岩手県遠野市にボランティアのための宿泊施設として県が2011年7月24日に設置。

●常駐スタッフにより、現地ボランティアセンター、NPO法人遠野まごころネットからの活動の調整を行うほか、独自のルートで現地住民からニーズを引出し、活動のマッチングを行っている。



現地のニーズの声を拾い、陸前高田MAPを作成。市内の再開した店舗や事業所を一つひとつ周り地図に記載。仮設住宅やみなし仮設、在宅避難の方へ配布し、少しずつ復興していく様子を伝え続けた。2012年現在では、作成作業を現地の支援団体AID TAKATAへ移管し、今後は配布作業の手伝いをする予定。



かながわ金太郎ハウスとは



4月金太郎ハウス宿泊

■男性 349名

■女性 172名

総人数 521名

■男性全体人数 4242名

■女性全体人数 1901名

全体総人数 6143名

各チーム紹介

事務局

事業運営 全般



各チームの活動調整

関係・協力団体との連絡・調整

神奈川県・社会福祉協議会との
連絡・調整

ボランティア募集発信

会計管理

外部からの問い合わせ対応

その他

神奈川県内でできる活動



ボラバスチーム



イベントチーム



グッズチーム



編集チーム



ホームページお助け隊



広報チーム



事務&ちょこボラチーム



各チーム紹介

ボラバスチーム

- ボランティアバス
参加者への研修会
- 現地の協力団体との
活動調整、打ち合わせ
- ボランティアバスリーダー
として参加者のリード



現地でのボランティア活動を終えてから、さまざまな思いや経験を話し合い、共有する場を開いています。

- 月2回（第2・4日曜）
- 14：30～17：00
- かながわ県民センター内
会議室
- 参加費；300円





各チーム紹介

イベントチーム

主な参加 イベント



2012/01/08

横浜消防出初式2012

2012/02/08

ぽかぽかプロジェクト報告会
&チャリティパーティ

2012/03/11

Bo-sai 2012
山下公園イベント

2012/03/11

関東大震災／東日本大震災
写真展

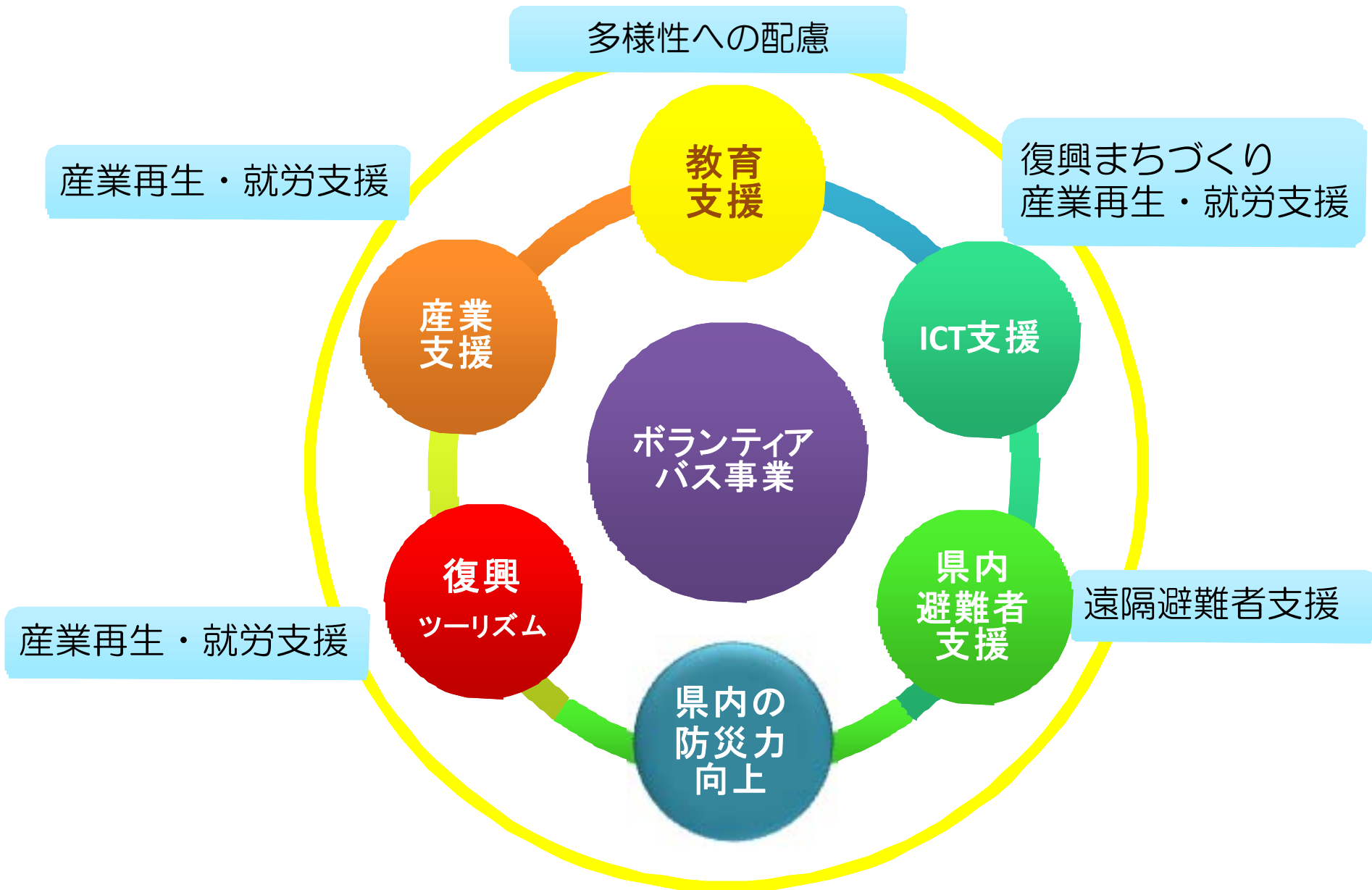
2012/03/11

3.11～七の心をつなぐ

2012/04/21
～22

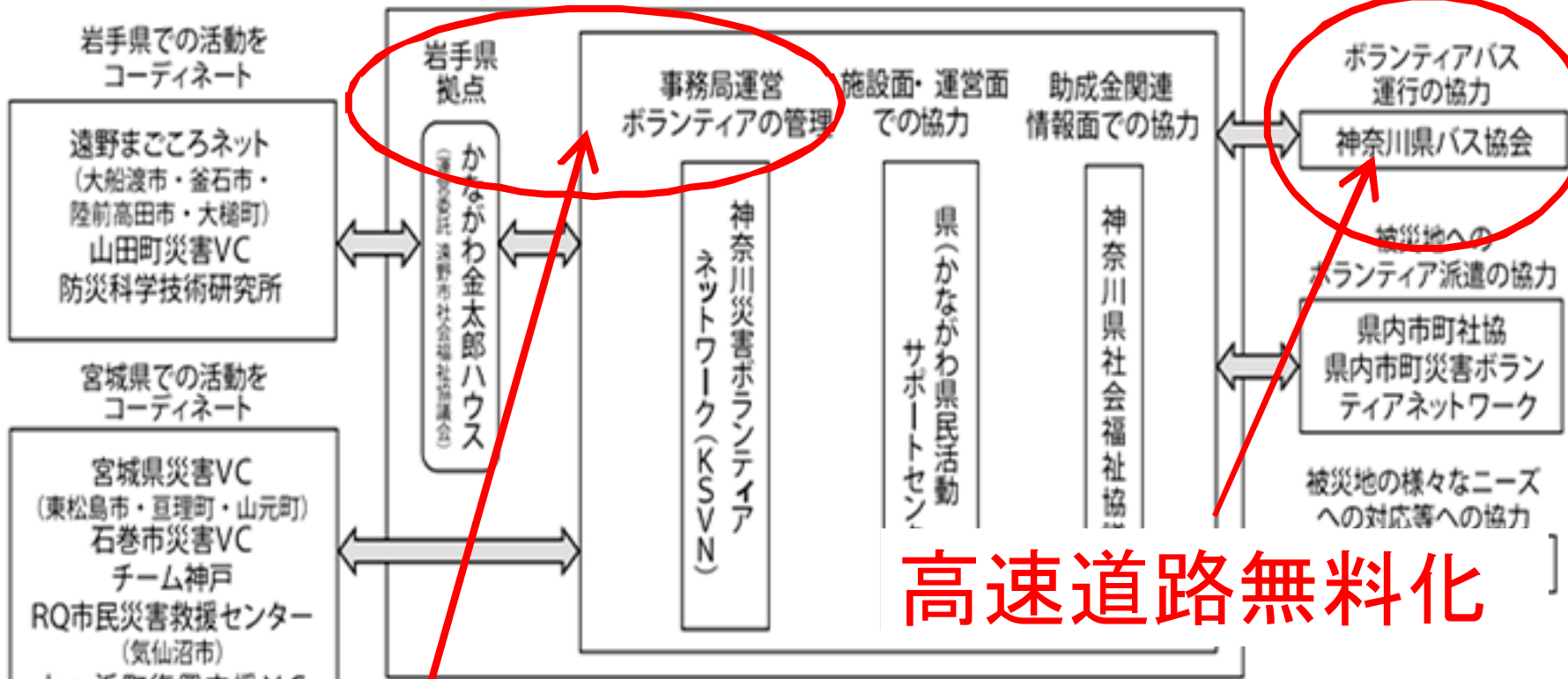
障がい福祉・青少年育成健全
育成・親子ふれあいフェス
ティバル

平成24年度の主要事業



【かながわ東日本大震災ボランティアステーションの仕組み】

かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業



高速道路無料化

- 【主な業務内容】
- (1) ボランティアの募集及び派遣
 - (2) ボランティアコーディネーターの派遣等

緊急雇用創出事業の活用

現地活動拠点との連絡調整の強化に関する事業